

2019年4月4日

株式会社データ・ケミストリー

株式会社 Data Chemistry 発足

**「詳細なパネルデータ」と「膨大な全数データ」の連携により
生活者のインサイトを明らかにし、
企業のコミュニケーション活動と戦略的な意思決定に貢献します**

2014年に株式会社アサツー ディ・ケイの100%子会社として誕生した株式会社アクシバルは、生活者調査データ、購買パネルデータ、メディア接触データをひとつにした「3D データベース」を活用してマーケティングサービスを提供してまいりました。この実績をベースに、このたび、株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ(2019年1月から ADK グループは持株会社体制に移行)に加え、株式会社ジェイアール東日本企画、株式会社東急エージェンシーが株主として参画し、社名をあらため、株式会社 Data Chemistry(データ・ケミストリー)が誕生いたしました。

パワーアップした新会社データ・ケミストリーでは、詳細なパネルデータを基盤とした「3D データベース」を用いて、生活者のインサイトを明らかにするサービスに加え、全数データを基盤としたパブリック DMP である「DC Catalyzer」という二つのソリューション・エンジンを活用し、より充実したサービスを提供してまいります。

新会社発足に関する詳細は、各社リリースをご参照ください。(五十音順)

株式会社 ADK マーケティング・ソリューションズ

<https://www.adk.jp/news-all/>

株式会社ジェイアール東日本企画

<https://www.jeki.co.jp/info/archives/?category=1&year=2019>

株式会社東急エージェンシー

<http://www.tokyu-agc.co.jp/news/2019.html>

データ・ケミストリーのサービスに関する詳細は、当社ウェブサイトをご参照ください。

<https://data-chemistry.co.jp>